

我が家のきまり

平成30年 作成



どんなきまりがありますか？

- Q 時間に関するきまりは？**
- 家族全員スマホ、ゲーム、タブレットは1時間
 - 1日1時間以上は使用できないように設定
 - 使用時刻は21時まで
 - 21時に電源OFF
 - 勉強や食卓の時間は電源OFF
 - 定時や食卓前は使用禁止
 - 週に1日は使用しない日を決めている
 - 休日のみしか使用できない

- Q 場所に関するきまりは？**
- 大人の目の届く場所で使用
 - リビングなど家族みんなが見える所に携帯
 - リビングで充電
 - 子どもだけで公園や駅まで持ち出さない
 - パソコンなどは、親と一緒に見る
 - 自分の部屋に持ち込まない
 - 誕生日は、決められた場所にする

- Q 特に禁止していることは？**
- 知らない人とメールやSNS等禁止
 - メールやライン等に人の悪口は絶対に書き込まない
 - 勝手にゲームの課金やアプリのダウンロードはしない
 - ゲーム機はインターネットに接続しない
 - 成績や生活に問題が生じた場合、一時使用禁止
 - ロックはかかない

- Q 安全に使用するためにしていることは？**
- パスワード、ID等は親が管理
 - 年齢制限の設定
 - 子ども用のケータイを使用
 - 登録していない人と連絡をとらない
 - 郵便留書（MTF（イジブツ）封筒）の配送
 - メールやLINEに使用していない言葉を入力すると、本当に使っているのか等の確認が画面に戻るよう設定

- Q 使用するための条件は？**
- 生活の仕でやるべきことをやってから始める（スマホ・ゲームは最後）
 - 宿題、勉強、手伝い、習字の学校の準備等ができたから使用できるようにしている
 - 親に声をかけてから始める
 - 勉強した内容を親に提出してから使用する

- Q 他にしていることは？**
- スマホは親のものを使用
 - 誰のものかは、親のパソコンを使用する
 - 誕生日とクリスマス以外はゲームソフトを買わない
 - 持ち上は親であり、子どもは借りているという認識で使用させている

どんな工夫をしていますか？

- ★ 親子で一緒にルールを決めています**
- 購入前に、約束事を読ませることでおく
 - 兄弟で宿題に納得できる内容で、それぞれのルールを決めている
 - ルールを守れたら褒めるようにしている
 - 約束10か条 として約束を決めている

- ★ 親子で話し合うようにしています**
- 時々、ゆづりやうーケー・スマホの使い方や内容について話し合うようにしている
 - 親子の話し合いの雰囲気を作っている
 - ニュースなどの事件の怖さについて話し合い、自分だったらどうするか一緒に考える
 - 知らない人と別々の危険性について話し合う

- ★ 設定等を工夫しています**
- 21時に電源が自動OFFになるように設定
 - データ通信をオフにする（留守電機能）
 - ホワイトリストにゲームの開始時刻と何をしようのか記入
 - 使用中はタイマーを使って、鳴ったら終了
 - 親がすべてを設定をして、定期的に設定の確認をする

- ★ 罰則を設けています**
- スマホは親の名義なので、何かあったら問答無用で没収
 - 約束を守れなかった時は「ケータイ没収！」と書面を作りリビングに貼ってある
 - 本人が約束した上で親が分かる
 - 状況に応じて、休まずで没収が下がったことなど、以前の反省を再度指導する

- ★ 親が手本を示すようにしています**
- 親は、必要なとき以外スマホの画面を見ない
 - 「お母さんだって「お父さんだって」と言われないように、親がケータイ依存にならないようにしている
 - 親子同レベル 親の姿勢が大助

- ★ こんな取組もしています**
- 可憐色の親とスマホ等の使い方の違いについて情報交換をしている
 - カーズゲームやパズルゲーム、家族みんなで楽しめる遊具をするようにしている
 - 不安に感じたらスマホの内容を見る約束や見られたら困ることほしめたり

持たせていません

- ※ SNSに関する事件をニュースで見ると、親子で話し合い、親が我が子を守るために、あえて買わないことをきちんと説明し、子どもも納得している。
- ※ 本人にとって、現在タブレットよりスマホの方が危険性が上回っているため、きちんと管理できるまでは持たせないと話している。
- ※ 「渡さない、始めない勇気」が重要。子どもに与えることは親の責任。「与える」=その先（成人まで）の行動にも親の責任がある。
- ※ 購入後は、月々の使用料が発生し、誰が払うのか子どもに聞いている。



ケータイ・スマホ等の安心安全な利用のための標語

館林市教育委員会

小学校の部



とてもきけん
相手が見えない ネットの会話
【第六小 加藤 優菜 さん】

ちょっと待て
だいじょうぶ そのサイト
【第一小 金井 匠暉 さん】

気をつけて
かおの見えない その会話
【第七小 小滝 莉央 さん】

気をつけよう
スマホにひそむ 悪いわな
【第二小 山本 英資 さん】

送信前
見直しておこう その言葉
【第八小 真次 清香 さん】

顔も名前も分からない
それって本当にお友だち？
【第三小 榎本 彩 さん】

「やってみたい」
しっかり安全 確かめて
【第九小 村田 知沙 さん】

消せないよ
うっかりクリック 残る後悔
【第四小 中村 結菜 さん】

知らぬ間に
知らない人が 知っている
【第十小 福田 樹希 さん】

おくる文字
送信前に 再確認
【第五小 卯月 歩翔 さん】

はい・いいえ クリック前に
— (ひと) こきゅう
【美園小 小林 翔空 さん】

画面越し 見えているかな
相手の素顔
【第一中 稲田 愛音 さん】

中学校の部



液晶の
向こうに生身の 人がいる
【第二中 田沢 愛 さん】

見知らぬ
LINE 危険のサイン
【第四中 飯田 唯愛 さん】

スマホ切り
やる気スイッチ さあ勉強
【第三中 栗原 京太郎 さん】

画面より
人の気持ちと 向き合って
【多々良中 原 あずさ さん】

- 持つ前に、本当に小・中学生に必要なかどうかを考えましょう。
- 家庭で「我が家のきまり」をつくり、そのきまりを必ず守りましょう。
- 正しい使い方やトラブルの解消に向けて、友達と話し合しましょう。

